



すぎく

令和4年9月30日

No. 512

杉並区立杉並第九小学校だより

「秋の読書旬間に寄せて」

副校長 浅田 透

暑かった夏の気候も、少しずつ落ち着きを見せ始め、徐々に秋の気配が感じられるようになってきました。穏やかな日が増えてくるにつれ、心静かに時間を過ごす、読書の秋もやってきます。

そもそも、この季節がなぜ読書の秋と言われるのでしょうか？そのいわれを調べて見ると、中国が唐の時代、韓愈（かんゆ）という詩人が詠んだ、「灯火親しむべし」という詩がもとになっているそうです。韓愈はこの詩で、「秋になり長雨があがって空も晴れ、涼しさが丘陵までとどいてきた。ようやく夜の灯火のもとで、書物に親しめる。」と詠みました。昔も今も、秋の良さを享受しながら、生活を豊かによりよく暮らそうとする心は変わらないようです。

「スポーツの秋」、「食欲の秋」、「芸術の秋」…。学校にとっても、秋は心身ともに充実した活動につながる、とてもよい季節です。この秋の教育活動の一環として、10月12日（水）から21日（金）の8日間、「秋の読書旬間」を実施します。期間中は、毎日の朝読書や教師たちのおすすめ本の「杉九読書Tシャツ・カード」の掲示などを通して、本

により親しむ活動を行っていきます。

先日来校されたある保護者の方が、図書時間に学校図書館に通りにかかった際、子どもたちがそれぞれ思い思いに本を選び、静かに読書をしている様子にとっても驚かれて、ご家庭では「なかなかゆっくりと読書する時間がない」と仰いました。その言葉を聞いた私は、クラスの読書の様子は、学校では日常的な風景ではあるけれど、「大人も子どもも忙しい」現代にあっては、なかなか確保できない、貴重な時間なのかもしれない、と思いました。

心静かに本と向き合い、作者と読者が知的な対話をする、そのような時間を学校ではこれからも大切にしていきます。

また、10月8日（土）には、午前中に『杉九子どもまつり』、午後はPTA主催の『杉九まつり』が開催されます。感染症対策のため、保護者の皆さんの参加・ご参観は制限させていただきましたが、3年生以上の各クラスでは、当日の楽しい行事になるよう、よく話し合い協力しながら準備を進めていきます。今月も引き続き、本校の活動へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

10月の生活目標

じょうぶな体をつくろう

「スポーツの秋」「食欲の秋」「読書の秋」「芸術の秋」秋だけなわです。何をするにも良い季節となりました。そこで、今月はじょうぶな体をつくるために、次の3つを実行しましょう。

- ① 好き嫌いせず食べる。 ② 外へ出て、おもいきり運動をする。 ③ 夜は早めにぐっすり寝る。
「栄養」「運動」「休養（睡眠）」が健康な生活のキーワードです。じょうぶな体をつくって、健康で楽しい秋を満喫しましょう。

